

2022年3月9日
人間総合科学研究群長

達成度評価（コンピテンス評価）の実施手順について

人間総合科学研究群における達成度評価（コンピテンス評価）の実施手順については、以下のとおりとする。

なお、早期修了プログラム学生および早期修了を適用するに相応しいと思慮される学生については、修了時の達成度が標準修了学生と同等であることを条件とする。

1. 達成度評価の概要

- 1) 修了のためには、汎用／学位プログラムの両コンピテンスを充たす必要があることから、達成度評価は「汎用コンピテンス」と「学位プログラムコンピテンス（専門コンピテンス）」により計る。
- 2) 達成度評価は、学則に定められた修了要件の最終試験の前提として学位プログラムにおいて実施するものとする。
- 3) 学位プログラムは、達成度評価の意味、実施方法、実施時期などについて、あらかじめ学生に周知し、学生の履修の段階に合わせて適切に実施することとする。
- 4) 達成度評価のために学生の自己評価を元にしたコンピテンスの獲得状況を評価するものとし、このための手続きをコンピテンス評価とする。

2. 達成度評価の時期

- 1) 1年に1回以上行うことを標準とし、修了までに2回以上実施するものとする。

3. 達成度評価の実施手順

- 1) 学位プログラムは学位プログラムが定めたカリキュラムマップをもとにして当該学位プログラムの専門コンピテンスと対応する主な学修との対応関係が明示されているコンピテンス評価表を作成する。
- 2) 学生は学位プログラムが定めた時期に、学位プログラムが定めたコンピテンス評価方法に基づいて自己評価を行い、学位プログラムが定めた提出先に提出する。
- 3) 学位プログラムが定めた委員会等がコンピテンス評価表をもとに、学生の達成度を評価し、学生に開示する。
- 4) 2)と3)を修了時まで複数回繰り返し、学生の授業の履修計画や学会発表・TA等の

主な学修の経験を積むための計画の参考とする。

- 5) 学生は、学位論文申請までの定められた時期に、最終的な達成度に係る自己評価を行い学位プログラムが定めた提出先に提出する。学位プログラムが定めた委員会等がコンピテンス評価表をもとに、学生の最終的な達成度を評価し、学位プログラムリーダーに提出する。
- 6) 学位プログラムリーダーは、学生がすべてのコンピテンス獲得の基準を充たしていることを確認し、達成度評価結果として論文審査委員会に報告する。
- 7) 論文審査委員会は、達成度評価結果と口頭試問をもとに最終試験を行い、合否を判定する。
- 8) 研究群運営委員会は学位プログラムリーダーから提出された論文審査等報告書を回覧し認定する。

以上